

マルセイニュース 11月号

発行日 2018/11/22

株式会社 マルセイ
浦河町東町うしお1丁目

〒057-0005 TEL0146-22-5123



平成30年度



パセオンカムイ カムイノミ 「カムイノミ」の意は「神々への祈り」

「秋の感謝祭」と「アイヌ文化交流会」

日時：10月28日(日) 11:00～14:40

場所：堺町生活館

主催：浦河アイヌ協会

「美味しいアイヌ料理の試食会もありますので、ぜひお越しください」。こんなうれしい案内を目にして、『秋の感謝祭』に参加させていただきました。資料の中の「ヌサにお祭りする神々」の図には、熊の神様、向別地区の神様、日高山脈の神様、浦河町を守る神様や穀物の神様などたくさんの神様が！こうして毎年、これらの神様にお供えものをして「神への祈り」を捧げながら続けられてきた伝統儀式を体験させていただきました。美しい衣装もまた、その技術と共に大切に継承されています。集まった皆さんと一緒にいただいたご自慢のアイヌ料理の数々も美味しかった～！



アイヌ文化交流会では、白老民族芸能保存会の皆さんによるムックリ演奏と歌、そして古式舞踊が披露され楽しませていただきました。そして、赤と白の色使いが鮮やかな白老の方々の衣装をはじめ、模似、三石、そしてもちろん浦河も！こんなにたくさんのお見事な手仕事の衣装を見ることができるなんて、幸せな日でした。(マックス)





今期も自社で申告書を作成しました！ (株)マルセイ 42期が始まっています

あっという間に11月末を迎えています。9月決算の当社では、新年を迎える前に新しい42期を迎えています。税務申告も無事に終了～。この冬の繁忙期に向けて、みんなで頑張ります！



(株)マルセイ第41期決算 税務申告修了

11月15日(木)。今年も大安の日を選んで当社の税務申告を無事に終了しました。大過なく41期の決算を終えることができ、現場での事故もありませんでした。年を重ねてくると、こういうことがすごく有り難いことに感じられます。日頃のご愛顧にあたたためて感謝申し上げます。

迷いながらも 何とか一歩でも 前進していきたい

9月から始まった新年度はあの地震の影響もあって忙しく始まりました。が、経営者として忙しさに見合う利益を生み出しているかなあと、よく考えるようになったこの頃です。私もはまさに3Kの職場ですから、みんなで汗を流した分はみんなに還元したいと思えます。給与・休暇・職場環境など諸々を総合したものが働いてくれる人への待遇ですが、まあまあと思えるように改善できたところもあれば、まだまだという部分はたくさんあります。今期が終わった一年後には、なんとか一歩でも前進していたいものです。

毎日の暮らしにご利用ください♥
今年もお楽しみに！



実は、5年後10年後のこのマチの姿が思い描けないこともあり、会社の姿もはつきりと思いがけないのが正直なところ。描けませんが、地域のすべての経営者の方々同様に、わたしも毎日、会社の将来のことを考え続けています。日々結論を出しては、日々それを微調整しています。正しいかどうかホントのところはわかりません。

でも、こうやって迷いながら進んでいると、昨年亡くなった会長が残してくれた言葉の大切さがわかってきます。

「つまい話には乗るな。」

毎日あれこれ悩みますが、これだけは間違いない指針です。忘れそうになる日もあつて、今期も頑張ります。マルセイをよろしく願います。



ストーブ分解整備 順調に終了しました！



「依頼をいただいていたお客様の『ストーブ分解整備』も無事に寒さが本格的になる前にお客様のお宅に設置できてほつとしています。この冬は暖かくお過ごしください。」

安心して暖かい冬を お過ごしください



一方で、「なんだか燃えが悪いんです。」「火が消えてしまします」などと、使い始めたら不具合が！というお客様からの修理のお問い合わせもちらちらとあります。他にも、異音や異臭など、ストーブの不具合を感じたなら早めにご相談ください。



浦河消防署による 秋の立入り検査終了



11月8日(木)。浦河消防署による危険物施設への秋の立入り検査がありました。毎年、実施される定期検査です。

点検では、設備の損傷や不備などのチェック、点検記録簿や施設に係る関係書類の確認などがあります。今回の検査には、社長と圭佑くんが立ち



会いました。検査に来た消防署の方から、まだ経験の浅い圭佑くんにも丁寧なアドバイスや説明をいただけた貴重な時間でした。こうして会社の仕事の大切なことが若い人たちに引き継がれていくのはうれしいことです。それにしても、塩害の影響もあり、設備の傷み具合には頭が痛いですね。



左は安全装置が付いていないタイプで、右は転倒防止などの安全装置付きです。当然、価格も3千円台～7千円以上と差がありました。

カセットボンベの 暖房器具を試してみました!!

9月の大停電以来、防災グッズが売れているようです。先月号でいざという時のための備えをしましょうと呼びかけましたが、真冬の地震や停電に備えようと『電源を利用しないカセットボンベの暖房器具』も売れているようです。そこで、私たちも実際に購入して試してみました。

ガスストーブやポータブル暖房機に注文が殺到している

聞いたところによると、製造中止予定だったガスストーブ（着火に電源を必要としないタイプ）も注文が殺到して、増産しているそうです。さらに人気なのがカセットボンベを使用するポータブル暖房機だそうです。そこで、このポータブル暖房機はたしてどのくらいの暖かさなのかを知るために、マルセイでも購入してみました。

真冬の北海道には暖房能力は不足

試してみた結論から言いますと、真冬の北海道の緊急時の暖房として使うにはきびしいです。そもそも、どちらもキャンプ時を想定した製品ですから、暖房能力は全然足りないかと判断しました。右側の写真のタイプで暖房出力が0.9キロワット、左側で1.4キロワットです。ポータブル石油ストーブ（電源不要タイプ）ならば、小型でも2キロワット、中型は6キロ前後の暖房出力があります。このカセット

トボンベタイプのほぼ5倍の暖房能力ですから、その違いはお分かりいただけますね。このカセットボンベタイプを非常用の暖房器具として使えるとしたら、春や秋でしようか。私たちの過ごす冬には無理です。

価格は高くなっても安全装置付きを！

また、価格は高くなりますが転倒防止や不完全燃焼防止など各種の安全装置付きがいいと思います。（右のタイプが安全装置付きです。）室内で使用する場合は、必ず「屋内用」の器具であることを確認してからお使いください。

電氣を使わない石油ストーブの用意をおすすめしたい

わたしは、真冬の非常時には、やはり「コンセントを使わない石油ストーブ」を1台用意されることをおすすめします。その際は、18リットルポリタンク一つ分ほどの灯油の備蓄があるとより安心でしょうか。

社長



あまりに便利で簡単に調理できるので、男性たちが料理してますよ～

魚焼きグリルで焼きあがったら そのまま食卓へ！



グリル調理器「ラ・クック」にぴったりフィットする専用のクッキングシートと木製プレート。今回はそのふたつの新製品を持参して、パロマの営業マン・谷藤さんがマルセイへやってきました。う～ん！やりますね～。使い勝手の良さもあったとはいえ、思わずどちらも買ってしまったのは…さて、誰でしょうか？みなさん、おわかりでしょうか^^



う～ん。これですっかり参っちゃいましたね。「社長！明日からは、オーブントースターじゃなく、こうやってガスグリルでパンを焼いてください！」とばわふるさん。そして思わず、「自家用に木製プレートとクッキングシートを注文します！」とマックス。谷藤さん。しばらくはマルセイに営業に来ないでください。（笑）



「トーストだけなら3～4分で、玉子を載せたら6分くらいでOKです！」。爽やかな笑顔でさりげなくパロマのグリル調理器の良さをPRする谷藤さん。なかなかの営業力でしたね。（笑）

ともあれ、これだけ実際に使い込まれている現物を見に使っている様子なのだ。

★
家ではいつもラ・クック使ってます！



この木製プレートがあると本当に便利なんです！というおススメに思わず…



浦河のみなさん、
お久しぶりです。
地域おこし協力隊だった
辰巳遥です。



ばふんペーパープロジェクトは 淡路島から再開しています！

拡張型心筋症を発症し、北海道から大阪の病院に転院して、昨年の12月に大阪で補助人工心臓を植え込んでから、はや1年が経ちました。何度か入退院を繰り返しましたが、現在は補助人工心臓をつけながら元気に過ごしています。退院直後は体力が落ちて外出するのに一苦労でしたが、今では活動的になって頻繁に出かけることができるようになりました。



馬のご縁で ばふんペーパーは 淡路島から

体力が戻ってきたので、少しずつでもアクションを起こしたいと思い、昨年8月に入院してからずっと気になっていた、ばふんペーパーの活動再開を模索しました。本日は浦河ですぐにでも始めたかったのですが、補助人工心臓の制限上、2時間以上の移動はできず、飛行機や船にも乗れないので、北海道へ向かうことができません。

私でできることから始めていけば、いつかまた浦河で復活できる日が来る。そう信じて活動を始める。馬のご縁で協力隊時代知り合った淡路島の山下氏から「淡路島でしか作れないばふんペーパーを作ろう！」と声をかけていただきました。

山下氏は、数年前まで洲本市地域おこし協力隊として活動されていて、現在はシェアホースアイランドを立ち上げ、「くらしに馬を」をコンセプトに馬の保護をしながら、馬を活用した取り組みで活躍されている方です。詳しくはシェアホースアイランドのホームページ(<http://share-horse.com/>)

淡路島からの再開を決めると、山下氏は協力してくださる施設探しから買って出てくださいました。すると、探している中で、一度は淡路島から消えて無くなってしまっていた伝統的な和紙づくりを復活させ、現在は淡路津名紙のギャラリーもお持ちになられている奥田好治氏にも協力していただけることになりました。



5月からばふんペーパーづくりの準備と体制づくりをはじめ、10月15日に淡路島産ばふんペーパーの試作会がおこなわれました。1年2ヶ月ぶりに復活したばふんペーパーを見た瞬間、1年ちよつとでここまでできるようになるとは思っていなかった。胸がいつぱいになりました。自分の体調が回復するまでも大変だったし、体力を回復させながら、ばふんペーパーづくりをまた実現させるのは大変でしたが、病院の先生方をはじめ、家族や、私の周りのいろんな

人たちの支えと助けでここまで来ることができました。その感謝の気持ち溢れてきて、生きていて良かったと本当に思いました。

11月25日には、シェアホースアイランドでばふんペーパーづくりのワークショップを開催します。

『馬がいるコミュニティで、そこに集まる人たちと一緒にばふんペーパーをつくる。』そんなコンセプトで、これからのばふんペーパープロジェクトは進めていきたいと考えています。

コミュニティナースの活動も始めました

その他、コミュニティナースの活動として、堺市にある桃山台団地で毎月開催されるmomonoマルシェにて、「ようぶくの保健室」をしています。独居で団地に住まれている高齢の方も多く、ボタンつけやほつれ直しなど、ちよつとした服の手直しを、マルシェで買い物している間に代わりに行うという



うサービスです。手直しだけでなく、毎月その場にいることで住民の方々の距離も近くなっている。でも気軽に話せる関係づくりをすることで、日頃気になっている健康や、身体症状についての話題を引き出し、病気の予防・早期発見につなげるという活動です。また、そこでは子ども向けの手作り小物のワークショップも行なっており、地域の子どもたちや子育て世代とのつながりも大事にしています。

また、コミュニティナース育成講座の1期生である私は、現在の受講生向けに、活動の相談等をオンライン上でおこなうナビゲーターとしても活動しています。

コミュニティナースについては、<http://community-nurse.jp/>

浦河に 感謝を伝えたくて

病気になってから、できることは非常に少なくなりましたが、私にできることからできるうちにやろうと思つて前向きに生活しています。

それは、浦河町で地域おこし協力隊をしていた時に出会った人たちが、今も繋がって支えてくれ

ているおかげです。浦河が繋いでくれた人の縁、ありがたさを感じながら毎日過ごしている。浦河に感謝を伝えたくて、今回また、マルセイニースに寄稿させていただきました。

また、紙面上にはなるとおもいますが、みなさんにお会いできる日を楽しみにしています。

辰巳遥



【webページ】
ばふんペーパープロジェクトFB
<https://www.facebook.com/yakawa.bpp>
DCMナースはるか
<https://www.dcm-nurse-haruka.com/>
(拡張型心筋症・補助人工心臓・心臓移植についての解説、病歴など)



今年も、売り上げトップでした！



写真提供 浦河町

第24回 あの日 この村 この味覚 北海道ふるさと会連合会

『北海道産直フェア』

平成30年10月5日(金)～10月8日(月) 午前10時～午後6時

於：代々木公園B地区イベント広場 (ふるさと会連合会ゾーン)

- 運営：北海道ふるさと会連合会 ● 後援：北海道、(公社)北海道倶楽部
- 協賛：18社(下記参照) ● 出店団体：24団体(裏面記載)
- 主催：北海道フェアin代々木～ザ・北海道～実行委員会



東京浦河会の方々にとっては、浦河にゆかりのある人がこの場に足を運んでくれることがご褒美でしょうか。今年も、ここで何人ものうれしい再会があったようです。出店期間中はここが“トル浦河”になるのでしょう。今後は東京近郊で暮らしている浦河出身の若い人たちの参加や応援が加わっていくといいですね。

「東京浦河会」が 今年もふるさと浦河の魅力をPR！

「浦河は、すでに晩秋の季節を迎え、冬支度に忙しい日々かと思われまふ。先の台風や地震では、浦河は被害が少なかったようですが、日本全国、災害続きです。気を緩めず頑張ってください。」

東京浦河会の方からお手紙をいただきました。その中にうれしいお知らせがありました。今年の「北海道産直フェア」では、出店した24店舗の中で今年も東京浦河会が売り上げトップだったそうです。すごいですね。本当にすごいです！

浦河町からの今年の応援参加は女性が二人！皆さん良かったですね。(笑)他にも、自社商品を出品した奥田商事さん、お料理松山さん、三協水産さんの応援参加を得て、今年も売り上げトップを成し遂げたそうです。

チャンスをといただき、私も4年前に1日だけ販売の応援をさせていただきました。主力である海産物の販売は、冷凍品が主流なので、野外での販売は大変です。若くはない東京浦河会の方々が、準備も含め、いったいどれほどの労力を費やして毎年この出店を続けていることでしょうか。本当に胸が熱くなる思いがします。皆さん、今年も本当にお疲れさまでした。そして、ふるさとの応援ありがとうございます！

マックス



「東京浦河会」には、首都圏在住の浦河町出身者と浦河にゆかりのある人が参加しています。



「古民家 ハーブティータイム」

日時：10月20日(土) 13:00～15:00

場所：かぜて(堺町西4丁目 元六畳書房)

主催：浦河の研究所 (富樫佳見さん)

10月20日(土)、浦河の研究所企画・第2弾の「古民家 ハーブティータイム」が開催されました。『浦河の研究所』には、浦河での暮らしにワクワクをプラスする、日高地域の素敵な人やコトを紹介する、人とのつながりを広める…などいくつかのモットーがあるそうですよ。『未来図をつくる会』の未来の浦河に望む将来像を語り描く中で一人の女性が発表した、「こんなことをやってみたい」というプランがひとつずつ実現されていっています。

つどうつながる 浦河の家
かぜて



次回第3弾は、12月16日開催「スキんケア・カフェ」です！

（富樫佳見さんのFBから転載）

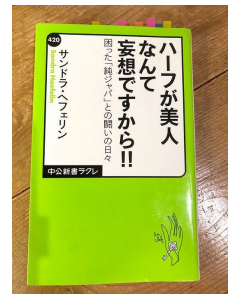


最初はハーブティーのブレンド体験から始まりました。体の悩み等をチェックシートに書き、それに対して本庄先生が沢山ある瓶の中からどれを調合すれば良いかアドバイスしてくださいます。自分でハーブの瓶から匙ですくって、紙コップで調合して…。気分は錬金術師！魔法使い？人によつてお花が入ったり、オレンジピールが入ったり、クローブやフェンネルシードといった固形物が多かったり、皆さんそれぞれのお好みが上りまじり、オリジナルブレンドハーブティーはその場でオシャレなパッケージのおみやげティーバッグに！こちらも素敵なお出になりました。



この日の講師は、新ひだか町在住『H'earth』（エイヂイアード）の本庄美穂さんでした。本庄さんご自身が「こんなことをやってみたい」という思いを実現させて、現在ハーブコーディネーターとして活動されている方です。「古民家 ハーブティータイム」は浦河でワクワクできた、素敵な時間でした！

最近読んだ
本の中より…



『ハーフが美人なんて妄想ですから』

サンドラ・ヘフェリン 著 (1975～) 中公新書ラクレ

ハーフが「日本と（著者の場合）ドイツの両方の国籍を持っているよ」と答えると、これは決まってもうほぼ全員が最高にいやな顔をする。「え？それって違法なんじゃないの？日本は二重国籍認めてないよ。ちゃんと選びなさいよ」と、口にこそ出さなくても、そう顔に書いてあるのだ。（本文より）

著者のサンドラさんは日本人とドイツ人のハーフです。たまたまテレビで見かける方ですが、たまたま本書のことを知り興味をひかれて読んでみました。面白いタイトルですが、内容も面白いのです。タイトルに「ハーフが美人なんて妄想ですから」というと、サンドラさんは「わかりやすく言えば、ハーフがみんな滝川クリステルじゃないんですから！」とユーモアを交えながらも本気で訴えているのです。誰にかといいますが、わたしのよう普通の日本人に純粋ジャパニーズの人たちです。純粋ジャパニーズを略して純ジャパです。

ハーフといえば 美形で語学堪能？

ハーフといえば、美形。そして語学堪能というのがなんとなくイメージとして頭にあります。しかし当然ながら、みんながみんなそうではありません。むしろ、それはテレビにタレントとして登場するようなく一部の人です。語学が達者でなかったり美形でなかったりその両方だったりの方が数の上では圧倒的に多い。けれど、そういうハーフに出会ったときのふつうの日本人の感想が、「ハーフなのに：残念ね。」というもののだとサンドラさんは記しています。わたしの中にもこういう先入観が、たしかに無いとは断言でき

きません。本書にはハーフの人たちの日常の苦労や悩みが軽快に綴られているのですが、わたしが興味をひかれたのは、冒頭に紹介した国籍問題のような、ちよつと真面目なテーマについてのハーフの人たちと純ジャパの人たちの考え方の違いでした。

本書を読んで気づいたのは、日本人の頭の中にあるハーフのイメージと現実社会が、けっこう違うということでした。国際結婚する人もハーフの人も、すでに少なくない人数の方々が暮らしているんですね。たとえ外見が日本人らしくなくてもです。サンドラさんはこう書いています。

「我々」の定義が
広くなりますように：

雑談の中でときどき「我々日本人は…」というのを聞いたとき一抹の寂しさを感じてしまします。ああ、この「我々」にハーフは入っていないんだらうなあ、と。あなたの場合はどうですか？近い将来「我々」の定義がもっと広くなりますように。



かわいかった～今年の春、母にひ孫の顔を見せに来た私の兄。次男のお嫁さんが日米のハーフなので、兄の初孫はクォーターです。（マックス）

社長



ソプラノ・川島沙耶さんとテノール・安田哲平さんの生声を体感しませんか？

星空が美しい季節の オペラコンサート

日時：12月8日(土) 18:30会場 19:00開演
会場：浦河町総合文化会館 文化ホール
特別協力：浜町通り会 協力：日高医師会

“オペラを身近なものに！” 昨年に続き2度目のオペラコンサートが浦河で催されます。

「文化や芸術に垣根はありません。先ずはこの機会にオペラを体験してください」と浦河町、新ひだか町および隣接の各町民とその同伴者には6,000円のA席を4,500円の特別価格で鑑賞できます。浦河町総合文化会館文化ホールの音響は演奏家の方々が驚くほどの素晴らしさ！その会場に、マイクなしで響き渡る素晴らしい生の歌声に出会いに出かけてみませんか？ おすすめします♪



新発売のプレートに載せてそのまま食卓へ！
便利だし、豪華に見えますね。



ガスグリルでおいしくクッキング

ガスでクッキング
して下さいね～

鮭の野菜グリル

(株)パロマの営業マンの谷藤さんが2度目の登場です。今回は、自分のガス調理器具「ラ・クック」を2個も持参！手際よく調理してくれましたよ～。簡単で美味しいガスグリル調理ですが、クッキングシートを使うと後片付けもより簡単で便利でした。



●材料（1～2人前）

鮭の切り身～1切れ
キャベツ～1/6個（千切り風）
玉ねぎ～1/4個（薄切り）
しめじ・キノコ（お好みで）
もやし～ひと掴み
＊野菜は色々お好みでどうぞ

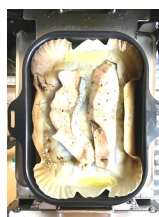
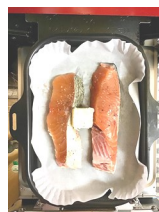
バター 1片
塩コショウ～ 少々
ハーブソルト～適量（お好みで）
顆粒和風だし～適量



「ラ・クックが3個も揃ったのを見るのは、僕も初めてです！」と感動しました。自分が家で使っているのを持参した谷藤くん。初代が使い込まれた緑色で、黄色が新しいもの。赤はマルセイのラ・クックです。

●作り方（株）パロマさん営業用？レシピ参照）

1. 鮭の切り身に塩コショウを少々。クッキングシートを敷いた「ラクック」に鮭の切り身を入れて、鮭の上にバターを載せます。「ラクック」にフタをしてグリルで5分加熱。（上火→弱・下火→強）
（これは、先に鮭に火を通すための行程です）
2. 切り身を裏返し、用意した野菜を入れます。
（赤や黄色、彩りを考えると出来上がりが美しい）
最後に顆粒の和風だしを適量振り掛け、蓋をしてグリルで9～10分加熱。（上火→強・下火→弱）
3. 仕上げにハーブソルトを適量振り掛けて完成！
木製プレートに乗せてそのまま食卓に配膳します。



谷藤くん、料理の実力がアップしていました！

僕が家で使っているものです！と、使い込んだラ・クックを見せられた時に、やるな～って思いましたよ。（笑）だって、毎日のようにトーストにも使っているそうです。へえ……。早くて簡単で、何よりも片付けが簡単なのがいいそうですよ。新発売のクッキングシートを使うと、さらに後片付けの洗いが楽になったとも。なるほど、これは男の人が調理するのにはおすすめですな。

婚約者と
衣装合わせしたんです
見ます？
かわいいんですよ～

うれしそうですね
ほんと
うれしそうだなあ



食欲の秋ですね～！食べてます！



バター、バター！
もっとたくさん
バターをのせようよ
ほ～ら、お^^



マルセイニュースのこのページがあるので、毎月最低1度はこうしてみんなで食卓を囲んでいます。あつ。でも、忙しい時こそ一緒に、できれば健康的な食事をしたいと思うからでしょうか。冬の繁忙期には、みんなで食卓を囲むことが増えるかもしれません。煮込みうどんや鍋焼きうどんを作ることありますが、これからの季節は、やっぱり豚汁なんか最高ですね。それから、手軽で美味しいと言えば、やっぱりカレーライスですね。さて、今年の冬もみんなで頑張ります！！

社長のちよと長いコラム



明石家さんま？ それ誰ですか？

いつからかめっきりテレビを見なくなりました。《ながら》が出来なくなってきたんです。テレビを見ながらの《ながら》です。家に帰ってご飯食べてお風呂入って、テレビを見ながらちよとくろぐという何十年も続けてきた習慣が出来ない。習慣でテレビはつけるんですが、見たいと思う番組が見つけれません。すべての局をチェックしますが、ほんの数秒見ただけで変えてしまいます。とくに地上波の番組がだめです。

同じような番組で 違いがわからない

健康あるある系か面白い小ネタ系か世界びっくり系か日本すごい系の番組が毎日放送されている（ように私には感じられる）のですが、どれも同じに見えるので何曜日の番組なのかいつまでたっても覚えられません。



ひな壇に座っているタレントさんも、毎日おなじ人が出ているように見えるのですが違うのでしょうか？

昭和33年（1958年）生まれのわたしはテレビ世代です。子どものころは手塚治虫や梶原一騎原作のアニメを見て、8時にはドリフターズを見て、大人になってからは倉本聰や山田太一のドラマを楽しみにして、ザ・ベストテンを毎週見ていました。テレビが好きとかいうより、毎日ご飯を食べるのが当たり前のようにテレビを見て暮らしてきました。そのわたしが、テレビを見るのがつらくなってきたのです。

茂木健一郎さんという学者さんがいます。髪の毛がくしゃくしゃの人。それこそテレビにも出ていますね。わたしより4才若い茂木さんが「地上波テレビ、衝撃の凋落」というコラムを書いていたので読んでみました。こんなことが書かれていました。

先日、心から驚いたことがあった。中学生と話していたら、「明石家さんまさんを知らないかったのである。」

「それ誰ですか？」と言った彼は、即座にスマホで調べていた。「ああ、こいつう人がいるのですね。」
絶句せざるを得ない。彼は、テレビは一切見ないのだという。

（茂木さんのブログから）

地上波テレビは 衝撃的に凋落してる？



わたしも驚きました。茂木さんはその後の講演会で2千人ほどの若者に質問を投げかけ、テレビを見ない若者が圧倒的多数であることを知ります。情報媒体としてのテレビはまさに「衝撃的に凋落」していました。凋落の原因は番組内容の著しい劣化だと茂木さんは指摘します。タレントの内輪話と内輪の都合によるキャスティングを止めると言います。一方で、こうも書いています。

ウーマンラッシュアワーの村本さんや、オリラジの中田さんは、地上波からは「干されている」そうだが、若い世代にとってはネット上での知名度、存在感は、おとなしくして、事務所の受けもよく、つまりはテレビ村の住人となって、地上波でレギュラーを持っているが、ネットでは全く話題にならない人たよりも遥かに高い。

そうなんでしょうね。テレビっ子のわたしとしては、またテレビが面白くなることを願っています。

さのぱわふる日記



先日、さっちゃんとお買いものに♪
目的は、さっちゃん、ちよとかしこまった会食に出席するための洋服探しのため。でも、堅苦しい洋服ではなく、普段より少しよき感じのいいとの事。二人でどんな感じにしようかとワクワクしながらショッピングへ♪

あつちのお店こつちのお店と試着を繰り返して、歩き回るとこれだ！というのに巡り合えず、素敵なのはお値段も素敵で、これを買うなら普段着を着買ったほうがいいよねとか、足を出したくないからダメとか、上着を着るので暑いから長袖はダメとか、ダメダメの理由が多過ぎて結局決まらず、さっちゃんも疲れ果て、「昔はさく、どの洋服でも着られたのに、今はこの体に合わせて選べないといけないから、自分のこの太った体を後悔してる」と落ち込み、「もういいわ」と買うことを諦め、疲れたからお茶しようかと休憩。

前回一緒に来た時は喉が渴いたねと泊まりで来ていたので運転しなくていいのだからシワシワしちゃうと立ち飲み屋に入り3時のおやつがわりに一杯！やっぱり都会だねこんな時間から飲めるなんてと二人で乾杯。

でも、今回は運転して帰らないとならないから残念だね、とコーヒで残念会。都会でも私たちの体に合う洋服がないという現実二人でショックを受け、やっぱり痩せなくちゃいけないね。と反省をした日でした。

後日、これは良いかもと見つけた洋服。私が着たら、さっちゃんも大丈夫と思い、試着しようとしたら、汗だくの私は自分の着ている洋服が汗でべりつき脱ぐことが出来ず、試着を諦めたという悲しい出来事。



あ、この体が恨めしい…。



発行 株式会社 マルセイ
灯油・プロパンガス販売・機器修理
廃棄物収集運搬・暮らしのサポート事業
冬季期間（10月～3月）定休日：日曜・祝祭日 営業時間 8:30～6:00 土曜3:00



編集 おはなし家（マックス） 発行部数 3500部
【Emailアドレス】 marusei.gs@gmail.com
【マルセイブログ】 「マルセイブログ」で検索してください
〒057-0005 浦河町東町うしお1丁目9-3
TEL 0146-22-5123